

平成29年度 厚木東高等学校 年間指導計画

教科・科目	外国語・応用英語表現	学年	第2学年	教科書	
		単位数	2単位	副教材	美誠社「ブレイクスルー英文法27章」 美誠社「ブレイクスルー総合英語」 美誠社「ブレイクスルー総合英語 基本例文ノート」

学習目標
一学年に引き続き英文法の学習を進め、その知識に基づいて、場面や目的に応じて情報や考えなどを英語で表現する能力を伸ばすとともに、積極的に英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。

学習方法
テキストを用いて、英文法の基本事項を学習した後、問題演習によって知識の定着を図る。英作文に必要な文法事項・語法・構文・フレーズなどを確実に習得し、Exercisesを使用した演習を通じて、英語で表現する力の向上・定着を図る。

学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨	
	①	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	
	②	外国語表現の能力	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	
	④	言語や文化についての 知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。	

評価の観点	①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	②外国語表現の能力	④言語や文化についての知識・理解
授業の取り組み	◎		
定期試験		◎	◎
小テスト	○	○	○
提出物	○		
課題	○	○	
観点別比重	30%	35%	35%

学期	内容のまとめ	時数	単元(題材)	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法
一学期	Lesson 1	2	文の種類	否定文と疑問文 命令文 感嘆文	①毎回の授業に真剣に取り組み、積極的に英文法の知識を身に付けようとする姿勢がある。また、課題や提出物を期日までにしっかり仕上げ提出し、自主的に学習をすすめようとしている。 ②日本語と英語の構造的な違いを理解し、適切な構文を用いて、平易な感情や基本的な情報を英語で表現できる。 ④英語の単語・構文・文法規則・慣用表現などを理解し、体系的な知識として身に付けている。	・観察 ・定期試験 ・小テスト ・課題・提出物
	Lesson 2	2	基本文型(1)	自動詞と他動詞 第1文型と第3文型 第2文型		
	Lesson 3	3	基本文型(2)	第4文型 第5文型 There is(/are)		
	Lesson 4	2	様々な疑問文	否定疑問文と付加疑問文 疑問詞を使った疑問文 間接疑問		
	Lesson 5	2	時制(1) 基本時制	基本時制と<時>や<条件>の中での未来の代用 will と be going to-V Shall I ~? , Will you ~?など		
	Lesson 6	3	時制(2) 進行形	現在進行形と過去進行形 進行形のその他の用法 動作動詞と状態動詞		
	Lesson 7	2	完了形(1)	現在完了形の用法(1)<完了> 現在完了形の用法(1)<経験> 現在完了形の用法(1)<継続>		
	Lesson 8	3	完了形(2)	現在完了進行形と It has been ... since~ 過去完了形 未来完了形		
	Lesson 9	2	助動詞(1)	can (過去形could) may(過去形might) must / have to-V		
	Lesson 10	3	助動詞(2)	will / would should (/ ought to-V) had better V, 助動詞を用いた慣用表現		

一 学 期	Lesson 11	2	受動態(1)	受動態の基本的な形 受動態のwh疑問文 第4・第5文型の受動態、助動詞のある文の受動態	①毎回の授業に真剣に取り組み、積極的に英文法の知識を身に付けようとする姿勢がある。また、課題や提出物を期日までにしっかり仕上げ提出し、自主的に学習をすすめようとしている。 ②日本語と英語の構造的な違いを理解し、適切な構文を用いて、平易な感情や基本的な情報を英語で表現できる。 ④英語の単語・構文・文法規則・慣用表現などを理解し、体系的な知識として身に付けている。	・観察 ・定期試験 ・小テスト ・課題・提出物
	Lesson 12	3	受動態(2)	進行形・完了形の受動態 群動詞の受動態 注意すべき受動態の表現		
	Lesson 13	2	不定詞(1)	名詞的用法:文中での働き 名詞的用法:形式主語と形式目的語 名詞的用法:疑問詞+o-V		
	Lesson 14	3	不定詞(2)	形容詞的用法 副詞的用法 tell / ask + O + to-V		
	Lesson 15	3	不定詞(3)	原形不定詞 不定詞の意味上の主語 〈程度〉を表す不定詞の重要表現		
	Lesson 16	2	動名詞(1)	動名詞の文中で働き 基本的な慣用表現 動名詞が前置詞と結びついた様々な用法		
	Lesson 17	3	動名詞(2)	動名詞の意味上の主語 動名詞と不定詞 動名詞と不定詞で意味が違うもの		
	Lesson 18	2	分詞(1)	名詞を修飾する分詞の用法 分詞が保護として用いられる場合 〈have / get + O + 過去分詞〉		
	Lesson 19	3	分詞(2)	分詞を含む慣用表現 分詞構文の基本的な形 分詞構文の表す意味		
	Lesson 20	2	関係詞(1)	関係代名詞の主格用法 関係代名詞の目的格用法 関係代名詞の所有格用法		
	Lesson 21	3	関係詞(2)	関係代名詞と前置詞 関係代名詞whatの用法 関係代名詞whatを用いた慣用表現		
	Lesson 22	3	関係詞(3)	関係代名詞と前置詞関係副詞 関係副詞の種類 関係詞の非制限用法		
三 学 期	Lesson 23	3	比較(1)	原級を用いた表現 比較級を用いた表現 最上級を用いた表現	①毎回の授業に真剣に取り組み、積極的に英文法の知識を身に付けようとする姿勢がある。また、課題や提出物を期日までにしっかり仕上げ提出し、自主的に学習をすすめようとしている。 ②日本語と英語の構造的な違いを理解し、適切な構文を用いて、平易な感情や基本的な情報を英語で表現できる。 ④英語の単語・構文・文法規則・慣用表現などを理解し、体系的な知識として身に付けている。	・観察 ・定期試験 ・小テスト ・課題・提出物
	Lesson 24	3	比較(2)	原級・比較級を用いて最上級の内容を表す表現 注意すべき比較表現		
	Lesson 25	3	仮定法(1)	事実と異なる想像 事実と異なることを願望する表現 直説法と仮定法		
	Lesson 26	3	仮定法(2)	should, were to-V を使って、起こりそうにないことを想像する as if (/ though) を使った仮定法の表現 〈if it were not for〉 や 〈without〉 などを使った表現		
	Lesson 27	3	話法	時制の一致 伝達する内容が平叙文・疑問文の場合の間接話法 伝達する内容が命令文の場合の間接話法		
合計時数(50分授業)		70				